

家庭学習の手引き

旭市立中和小学校

1・2年生の学習のポイント

学習時間のめやす

- きまったじかんに つくえにむかって しゅくだいをするくせをつけましょう

20分程度

まいにち きめたじかんに じぶんから かならずやりましょう

- 学校のしゅくだいをする
- えんぴつをけする
- あしたのじゅんびをする



おうちの人などにも たしかめてもらい、まちがいなおししましょう。

めやすの時間をもとに、しゅくだいがおわったらじしゅ学習をやってみよう
※だれでもよめるように ていねいに かきましょう

たとえば

◆れんしゅうする

・ひらがな、カタカナ、かんじ ・おんどく ・けいさん ・うんどう

◆本をよむ ◆えにっきをかく ◆かんさつする ◆おうちのしごとをする

◆けんぱんハーモニカのれんしゅうをする

◆タブレットをつかったべんきょうをする

・ジャストスマイルドリル ・タイピングれんしゅう

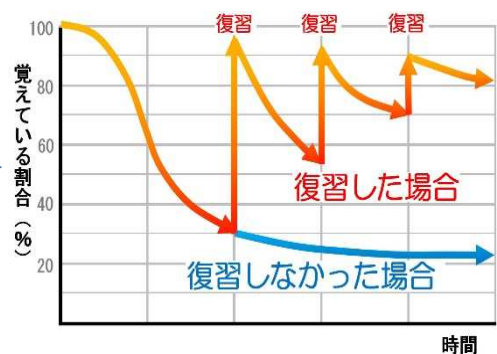


Q : なぜ家庭学習が大切なのですか？

A ① : 「自ら学ぶ力」が育つからです。

A ② : 学習内容が確実に身に付くからです。

人は一度学習したことも、時間がたつとどんどん忘れていきます。くり返し復習することで、学習内容が確実に身に付くからです。



エビングハウスの忘却曲線より

Q : 毎日、続けるために大切なことは何ですか？

A ① : 決まった時間に、決まった場所です。

A ② : 勉強に集中できる環境をつくる。

みじかき 短い時間でも、毎日規則正しく続けることが大切です。

ゲームやテレビや動画などをやめて、しずかな場所で勉強することが大切です。

学習習慣の基本は家庭から ～おうちの方へ～

子どもの学習能力は、年齢によっても個人によっても異なります。子どもの発達の段階に合わせて、子どもの「自ら学ぶ力」を育てましょう。そのためには、家族の協力が大切です。

家庭学習の習慣を付け ましょう



この時期の子どもは…

- 何にでも興味をもち、知りたがります。
- 頑張ったこと、よいところを大人にほめてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、やり方を決めるのは、まだむずかしいです。
- まだ自分中心で、周りの人のことを考えて行動できないときもあります。

●「タブレットを活用する」～これからの教育に欠かせないアイテム～

中和小の低学年は、週1回程度のタブレットの持ち帰りをスタートします。タブレットを使った宿題も出していきます。低学年の時期からタブレットに慣れさせていきます。持ち帰ったときは、おうちの方のサポートをお願いします。

●「規則正しい生活をする」～学力は規則正しい生活から～

子どもが毎日家庭学習を続けるためには、何よりもまず家庭での生活リズムが整っていることが大切です。「早寝、早起き、朝ごはん」など規則正しい生活を心がけ、心身ともに元気に過ごせるようにしましょう。

●「家族のふれあいをもつ」～温かい家庭が育む学ぶ意欲～

「今日は何を習ったの？」と聞くことから、子どもの復習が始まります。親が子どもの学習に関心をもつことで、自分のことを見てくれているという安心感を与え、学習への意欲が高まります。

●「子どもの頑張りをほめましょう」～習慣化へとつながるポイント～

勉強やお手伝いをして家族からほめられたり、家族が喜び姿を見たりして、子どもは、家族の役に立ったことや自分の成長を実感し、学ぶことやお手伝いすることに喜びを感じます。その喜びが、次もやってみようという意欲につながります。まずは、子どものそばについて、子どもの頑張りをしっかりと認めたり、ほめたりして、子どもの意欲を高め、習慣となるようにしましょう。

「家庭教育は、全ての教育の出発点です」

家庭教育や就学前教育については、次の資料などを参考にしてください。

・家庭学習のすすめ

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/2015/kateigakus-yougaku.html>

